

大会宣言文

全国連合小学校長会は、結成以来七十八年にわたり、我が国の小学校教育の充実・発展のため、真摯に研究と実践を重ね、着実にその成果を上げてきた。

第七十二回京都大会からは、大会主題を「自ら未来を拓きともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進」とし、各大会の特色を生かしながら、その実現に向け、組織を挙げて実践的に研究を進めてきた。

子どもたちを取り巻くこれからの社会は、深刻さを増す少子化・高齢化、気候変動に伴う自然災害の激甚化、生成AIなどデジタル技術の急速な発展といった大きな変化があいまって、社会の先行きに対する不確実性がより高まっていくことが予測される。また、不登校児童や特別支援教育の対象となる児童、外国人児童等、教育的支援を要する子どもが増加しており、子どもたちが抱える様々な課題が複雑化・困難化するとともに、過疎化や情報化など家庭や地域をめぐる状況も大きく変化している。

このような社会の変化や子どものも多様化において教育の果たす役割はますます重要となっている。子どもたちが今後も未来社会を豊かにたくましく生き抜くことができるようになるためには、異なる価値観をもつ多様な人々と、当事者意識をもって対話を行い、問題を発見・解決できる、民主的で持続可能な社会の創り手となる力を身に付けられるようにすることが求められている。

今大会において、ふるさとへの誇りと愛着をもつことは、多様な人々とつながり、ともに未来を切り拓く原動力になると考え、夢や課題に新たな発想で挑戦できる子どもの育成を目指し、副主題「ふるさとに誇りと愛着をもちともに未来社会の創造に挑戦する子どもを育てる学校経営の推進」を設定した。私たち校長は、社会の変化を見極め、絶えず挑戦と改善を繰り返しながら、質の高い教育活動を推進していく責務がある。そして、小学校教育の更なる発展に全力を注ぎ、国民の期待に応えようとするものである。

ここに、第七十八回全国連合小学校長会研究協議会の総意に基づき、次の決意を表明しその実現を期する。

記

- 一 自ら未来を拓きともに生きる豊かな社会を創る 日本人の育成を目指す小学校教育の推進
- 一 ふるさとに誇りと愛着をもちともに未来社会の創造に挑戦する子どもを育てる学校経営の推進
- 一 「生きる力」を育成する、創意工夫ある教育課程の編成・実施・評価・改善の充実
- 一 人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念の育成を重視した心の教育の一層の充実
- 一 自ら判断・行動し、命を守る子どもを育成する防災教育の充実
- 一 学校の自主性・自律性の確立と家庭・地域等との連携・協働による教育活動の充実
- 一 安全で安心できる教育環境づくりと共生社会の実現に向けた教育の充実
- 一 校長自らの研鑽と、教職員の資質能力の向上を図る現職教育の充実
- 一 教員の「働きやすさ」と「働きがい」を両立させ、よりよい教育を目指す「働き方改革」の実現

右、宣言する。

令和八年十月二日

第七十八回全国連合小学校長会研究協議会北海道大会